



きくがわ 社協だより

No.130

2015年

12月発行

ホームページ <http://www.kiku-syakyou.or.jp/>

菊川市社協

検索

社協(社会福祉協議会)は、みなさんと共に
「安心していきいき暮らせるまち」を考え、推進する民間団体です。

「みんなのしあわせ懇談会」を 開催しました



住みやすいですか あなたの地区は～5年後、10年後を見据えて～

今年度もコミュニティ協議会と菊川市社会福祉協議会との共催により「みんなのしあわせ懇談会」を開催しました。11地区464名のみなさまにご参加いただき、様々な懇談が繰り広げられました。

社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会

〒439-0019 静岡県菊川市半済1865(プラザげやき内)

☎(0537)35-3724 Fax(0537)35-3202

Eメール info@kiku-syakyou.or.jp

1

 この広報誌は赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

平成27年度 みんなのしあわせ懇談会を開催した 結果についてご報告します

① 開催内容

(1) 目的

- ① 各地区での地域課題を探り出し事業に反映させる
- ② 地域住民との懇談及び資料提供を通じて地域課題や小地域福祉活動の必要性の理解を図る
- ③ 「地域福祉計画・地域福祉活動計画」策定へ懇談会からの意見を反映させるの3点を目的に開催しました。

(2) 懇談会の流れ

- 菊川市社会福祉協議会より開催挨拶
- 地区コミュニティ協議会会長様よりご挨拶
- グループ懇談

テーマ「住みやすいですかあなたの地区は
〜これからの5年後、10年後を見据えて〜」

○ 地区自治会地区長様より講評



③ 開催月日と参加人数

⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	地区	開催月日	人数
平川	嶺田	小笠南	内田	六郷	西方	加茂	河城	小笠東	横地	町部		8月17日(月)	39
												8月21日(金)	37
												8月24日(月)	50
												8月26日(水)	49
												8月27日(木)	45
												8月28日(金)	48
												8月29日(土)	40
												9月2日(水)	39
												9月7日(月)	67
												9月28日(月)	31
												10月2日(金)	19

以上の月日に、午後7時〜9時の時間帯で各地区センター・コミュニティセンターを会場に、地区の住民の皆様とグループ懇談を行いました。

② 懇談で出された意見から浮き彫りになった項目

11地区の懇談を通じて、菊川市全体として浮き彫りになった項目を20項目にまとめました。

(1) 交流・コミュニケーション

- 顔の見える地域環境づくりにもむけた「地域行事」の活性化
- あいさつ・声掛けで地域の絆を高める
- 世代を超えたふれあい交流

(2) 住民主体の地域づくり

- 一人ひとりが「趣味や特技」を活かし、地域に貢献できる環境づくり
- 地域行事を活性化し、新たなコミュニティの形成を図る

(3) 後見人制度

- 後見人制度の位置づけ

(4) 福祉施設との連携

- 日常的な福祉施設との連携による、災害時の「福祉避難所」の設置運営の円滑化

(5) 居場所・サロン活動

- 多様なニーズに対応する集まるサロン運営

- 世代を超えた「ふれあい交流の場」

- 「地域ぐるみの居場所」の開拓
 - a 集合住宅間交流
 - b 子どもとの交流
 - c 長寿者と子どもとの交流
 - d ご近所の交流

(6) 地域トータルコーディネイト機能

- 地域をトータルにコーディネート出来る機能
- 地域の拠点を強化（コミュニティセンターの有効活用／地域資源の開発）

(7) 個別支援

- 個別支援と個人情報保護の共通理解
- 生活支援・・・商工業領域との協働的解決策

(8) 見守り

- 見守り活動の具体化（男性の孤立化防止）
- 班単位で「見守りマップ」の作成

(9) ニーズ把握

- 地域ニーズを「見える化」し、誰もが地域参加し地域実践活動出来る環境の確立
- 住民が自分の地域の現状を知り、これからの地域づくりに参画する意識を高める

(10) 組織運営

- コミュニティ組織への参画意識の高揚
- 若者の出番を創る仕組み（大人社会の仕掛け）
- 一人ひとりの地域活動の出番を創る（役割分担を明確にする）

(11) 長寿者に関すること

- 現状を踏まえ、予測されるニーズ（高齢者世帯、単身世帯）に対応する予防福祉の視点からの「空家対策」
- 長寿者を取り巻く地域環境、隣組の支え合いで安心できる関係ある地域づくりの確立

(12) 経済と福祉の融合

- 「経済」と「福祉」をつなぐ、若者の地域参加できる社会環境の醸成

(13) 女性の社会参加の促進

- 女性の社会参加の促進
- 女性が住みやすい地域環境づくり

(14) 子どもを育む

- 地域の子どもの地域で育む環境づくり
- 異年齢集団によりたくましい子ども環境の醸成

(15) 情報の共有化

- 情報の共有化

(16) 教育と福祉の融合

- 学校教育と地域の連携による「声掛け運動」で顔の見える地域環境づくりの継続的取り組み
- 市民に福祉活動を理解し、継続する啓発学習活動の必要性

(17) 地域支援

- 生活支援のニーズ（買い物弱者）を把握し、地域をトータルにコーディネートできる機能を確立し、地域性を踏まえた具体的な取組みを考える
- おせっかい屋さん、世話焼きさんの復活

(18) 地域の後継者問題

- 地域の福祉課題を把握し、歩みよる「生活支援」を具体化・・・商工労働との協働（移動販売車）
- 自然に恵まれたつとも、地域の後継者問題、耕作地の放置等をいかに地域活性化につなぐか（人財育成）

(19) 健康づくり

- 健康寿命延伸の取り組みの努力「皆入ポーツ」
- 地域ぐるみで「健康寿命延伸」に向けた運動・社会参加の呼び掛け

(20) 地域防災

- 災害と福祉：日常的関係づくり
- 日常的「コミュニティ基盤を確立し、災害時の対応に活かす

3 今後につけて

以上のようなご意見を、懇談会に参加されたみなさまからいただきました。

これらは、平成26年度・平成27年度の2ヶ年を通じてまとめた内容になります。

これからの地域福祉推進の課題としてみなさまと共有し、様々な関係機関や団体とも協働しながら、みんなが安心して暮らせるまちづくりに向けて取り組んでいきたいと思っております。

みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。



手工芸とグラウンドゴルフで毎日充実しています

Q. 現在の活動について教えてください。

私の母親は編み物や手先が器用でいろいろな物を作りました。私は母親の血を引き継いだのか作ることが大好きです。座れば手を動かしています。女性に生まれてよかったなあと思います。

私は着物の生地を使いリフォームして服を作っています。兄弟たちが不要になった着物を譲ってくれるので助かっています。月1回和松園にリフォームの先生が来てくれるので、いろんなことを教えてもらっています。こういう物を作りたいと言うと、先生が型紙をとってくれるので作りたいものが作れるので嬉しいです。小物も教えてくれます。

今は来年の干支のサルをふうせんかずらの実を頭に見立てて作っています。



まつした ひさえ さん（本町）

Q. 活動して楽しいことや印象に残っていることがあったら教えてください。

横須賀で開催していた“ちっちゃな文化展”に息子がお茶の店を出しました。そこに私が作ったフクロウやお猿の置物等を置いてくれました。来てくれた皆さんに喜んでいただいたようで嬉しかったです。

毎年、近くの保育園や幼稚園にキューピー人形で作ったサンタさんをプレゼントしています。子どもさんに喜んでもらって作ってよかったと思っています。民生委員の方に協力いただいて代わりに届けてくれます。

以前、いつも家で何もしていない方に編み物を教えてあげたら、すごく興味を持ってくれて着るものを編んだり、いきいき生活するようになってとても嬉しかったです。

Q. 趣味や楽しみなことは何ですか。

以前は図書館で本を借りて読みましたが、この頃は手工芸が一番の趣味です。

お花が好きで枯らすこともあります。咲くのが楽しみです。

今は身障福祉会のグラウンドゴルフやフライングディスクをやるのが楽しみで、勝負は二の次ですが皆さんと顔を合わせて、おしゃべりしたりすることはとても楽しいですね。

Q. これからの目標や、やってみたいことがあったら教えてください。

これからも子どもたちが喜ぶものを作って、まだ届けていない保育園や幼稚園に届けたいと思っています。

グラウンドゴルフも体が動く限り年齢を考えないように頑張りたいです。

一日一日を楽しく充実した日を送れたらそれで十分です。



手作りのプレゼント

※皆さんのお近くで笑顔輝いている方がいましたら社会福祉協議会へご紹介ください。

西方元気朝市実行委員会

西方元気朝市実行委員会は、平均年齢72歳の女性7名、男性7名の14名でなっています。全員、元気な高齢者です。

朝市を始めた動機は、何かコミュニケーションを深める事はないかと考え、実行するメンバーそして西方の皆さんが喜んでくれる事とを考えて朝市になりました。朝市に野菜など出品してくれる人も西方の人が、ほとんどです。

実際に朝市を始めると14名の委員が力を合わせて工夫し、月に2回の朝市を予定に組み込んだ毎日になり、楽しみにする様になりました。

来てくれるお客様も老若男女それぞれです。1年も続けていると毎回定期的に来てくれる人、ときどき間を見て、来てくれる人とあるようになりました。

委員の中でも販売の対応は、主に女性がしています。女性の方が人当たりが柔らかくお客様の対応には向いています。お客さんの中で高齢者の人達是对応する女性と顔みしりになり話し込んで行く人もいます。

一人暮らしの人など、楽しみに来てくれる様です。又、お米を定期的を買ってくれる人もいます。遠くに買物に行けない人が、朝市をあてにして毎回来てくれます。朝市では、お茶コロッケを販売しています。ささの恵のママさん達が、菊川特産のお茶を少しでも多く消費する様にと考えた物です。菊川市商工会の菊川ブランド認定商品です。お茶の入ったコロッケは珍しく、朝市では、毎回平均80個売れます。美味しいですよ。是非、ご賞味して下さい。朝市には、助人も来てくれます。記念の時など西方の綿菓子の会が応援に来てくれます。綿菓子は子ども達に大人気です。孫と一緒に来たおじいさんおばあさんも、この時は出番です。家族みんなで楽しんでます。

又、焼き芋の会の人達も、何回か参加してくれました。素人の焼いた焼き芋は、それなりに美味しくて大人気でした。

こうした地域の皆さんの応援を得ながら今後も、月2回の朝市を委員が力を合わせて守って行くつもりです。

是非、一度西方元気朝市を見に来てください。

開催日時 毎月第2、第4土曜日 午前8時～10時30分（売切れじまい）

開催場所 西方地内「ささの恵」駐車場及び東側空地



3障がい(身体・知的・精神)で活動するボランティア養成講座～身体障がい者編～を開催しました

11月2日(月)に障がい者支援施設光陽荘において、ボランティア養成講座を開催しました。

今年度の講座は、光陽荘のご協力により、身体障がいの中でも視覚障がいの方について学んいただきました。講義や体験をとおして、見えないとはどういうことなのかを学ぶとともに、施設見学を行いました。

6名の方に参加していただき、質問をしながら理解を深めました。



ひきこもりを抱える家族支援セミナーを開催しました

11月4日(水)にプラザけやきにおいて、全国ひきこもりKHJ親の会静岡県「いっぷく会」の協力のもと、ひきこもりを抱える家族支援セミナーを開催しました。

聖隷クリストファー大学社会福祉学部社会福祉学科准教授の大場義貴氏にお越しいたいただき、「ひきこもりの理解と支援～ささいなことから始めてみよう～」をテーマにご講義いただきました。

ひきこもりの長期化を防ぐための一つの方法として、「身近な地域にあるひきこもりに対する支援機関を普段から住民向けに広く周知しておくこと」が挙げられていました。

今後も、社会福祉協議会で行っているひきこもり・不登校無料相談会について広報していきたいと思っております。



菊川市老人クラブ芸能祭が開催されました

11月20日(金)に中央公民館多目的ホールにおいて、カラオケ、舞踊、演奏、寸劇等、内容盛りだくさんで、華やかに開催されました。

会場には、出演者、観客を含め、259名の方々が集まり、日頃の成果を披露したり、声援を送るなど、賑やかな楽しい1日を過ごしました。



のこぎり演奏(松下肇氏)



眞室川音頭(東嶺田東和会)
(撮影:おっ撮りカメラ隊)

ボランティアの広場

ボランティアの輪・和・話(三つの“わ”)

病院ボランティア“星”

菊川病院のホールでピンクのユニホームを着用し、来院者のお手伝いをしているのが私たちのメンバーです。昭和61年10月にスタート、先輩から受け継いで早30年。主として受診上の手続きや身体の不自由な方の援助、来院された方が少しでもスムーズに受診できるようにと、15名が交代で活動しています。

月1回の打ち合わせ会を持ち当番の確認、患者側に立った意見の交換等をします。また、年1回研修を目的とした視察も行っています。病院通いのお役に立てれば、私たちの喜びです。

来院の際、ご用のある方はぜひ声を掛けてください。

また、同志としてご協力くださる方もお待ちしております。



問合せ先 ボランティアセンター ☎35-6385

受講者募集「お申し込みをお待ちしています」

問合せ・申込先 ボランティアセンター ☎35-6385

「訪問傾聴ボランティア養成講座」

- 日 時 平成28年2月2日(火) 13:30~15:30 (受付13:00~)
- 会 場 菊川市総合保健福祉センター プラザけやき 検診ホール
- 内 容 講義・演習「傾聴の基本と訪問傾聴活動の意味と意義」
- 講 師 静岡県立大学短期大学部 社会福祉学科 助教授 川島貴美江 氏
- 対 象 者 20名(先着順)
受講後、訪問傾聴ボランティアとして活動可能な方
- 申込締切 1月20日(水)までにお申し込みください。

「災害ボランティアコーディネーター養成講座」

- 日 時 平成28年2月13日(土) 9:00~16:00
2月21日(日) 9:00~12:00
- 会 場 菊川市総合保健福祉センター プラザけやき 201会議室
- 内 容 1日目 講義「災害ボランティアコーディネーターとは」
「第4次被害想定概要」
「菊川市の防災対策について」
演習「避難所運営ゲームHUG」
2日目 講演「菊川災害ボランティアコーディネーターの活動」
演習「災害ボランティア支援本部運営」
- 対 象 者 20名(先着順)
・市内在住または在勤の方
・受講修了後に、菊川災害ボランティアコーディネーター
(ボランティアグループ)として活動可能な方
(修了者には「ふじのくに災害ボランティアコーディネーター認定証」を交付します。)
- 申込締切 2月3日(水)までにお申し込みください。
- 持 ち 物 昼食(1日目)、筆記用具 ※動きやすい服装でご参加ください。

参加者募集 各種事業

平成28年度 地域福祉活動支援助成のご案内

地域における福祉活動の支援を目的とし、市内の福祉的な課題に取り組んでいる当事者組織や、ボランティア団体、市民活動団体などに、共同募金の配分金を財源に助成金を交付します。

○交付申請協議書の提出（1月）

助成を希望する団体は、平成28年1月15日（金）までに「交付申請協議書」をご提出ください。

○助成金の内示（2月） 審査会において協議し、助成金額を内示します。

○交付申請書の提出・交付決定（3月） ○助成金の支払い（4月）

問合せ・申込先 菊川市社会福祉協議会 ☎35—3724

第38回静岡県ボランティア研究集会のご案内

日時 平成28年2月14日（日）10：00～16：45

場所 プラサヴェルデ コンベンションホールB（沼津市）

テーマ エンジョイ！えんじょい！ボランティア！—気づこうよ、今が一番若いとき—

内容 ①基調講演「暮らして愛は生きている～『援助依』から『えんじょい』へ～」

講師 森 法房 氏（人間いきいき研究会 世話人）

②分科会（8分科会） ③全体会

参加費 一般1,000円・高校生以下500円

締切り 平成28年1月26日（火）※定員400名になり次第締め切り

問合せ先 募集要項・申込書は、社会福祉協議会窓口とボランティアセンターにあります。 ☎35—6385

「フードドライブ」に御協力ください

実施期間 平成28年1月5日（火）～1月29日（金）

回収場所 菊川市社会福祉協議会窓口（プラザけやき内）

希望食品 穀類（お米、麺類、小麦粉等）、保存食品（缶詰、瓶詰め等）、インスタント食品、調味料、食用油、飲料（ジュース、コーヒー、紅茶等）、ふりかけ、お茶漬け、のり、ギフトパック（お歳暮、お中元）等々、常温で保存が効くもの

（食べ物を寄贈する時の注意）

- ①生鮮食品の寄贈は受け付けておりません。
- ②賞味期限が1ヵ月以上ある食べ物を寄贈ください。
- ③原則未開封の食べ物を寄贈ください。
- ④お米、缶詰、パスタ、そうめん、防災食などが喜ばれます。

問合せ先 菊川市社会福祉協議会 ☎35—3724



「フードドライブ」ってなに？

フードドライブとは、家庭に眠っている食品を学校や職場、食品募集受付施設などに集めて、フードバンクに寄付する食品寄付運動のことです。

寄付していただいた食品は行政や社会福祉協議会・支援団体を通じて食べる物がなくて困っている方々にお渡しいたします。

相談窓口

福祉総合相談

日時 月～金曜日 8：15～17：00

生活困窮者自立相談

日時 月～金曜日 8：15～17：00

心配ごと相談

日時 1月4日（月） 9：00～12：00

1月15日（金） 13：00～16：00

会場 プラザけやき

日時 1月5日（火） 13：00～16：00

1月20日（水） 9：00～12：00

会場 菊川市役所 小笠支所

結婚相談

日時 1月8日（金）18：00～21：00

（受付20：00まで）

1月17日（日）9：00～12：00

（受付11：00まで）

会場 プラザけやき

※初めての方は写真と印鑑をご持参ください。

※奇数月の第1金曜日は女性専用日となります。

ひきこもり、不登校無料相談会

日時 1月4日（月）・18日（月）13：00～16：00

会場 菊川児童館（プラザけやき2階）

予約電話 090-1476-3233